



令和2年12月22日 中部教育事務所

検証問題 7 (4)

夏休みの過ごし方について書かれた80語程度のスピーチ文を読んで答える問題。(4)ではスピーチ文について交わされた40語程度の対話文の空欄にあてはまる語を書く。

話の内容や書き手の意見などに対して、感想を述べたり賛否やその理由を示したりすることができるよう、書かれた内容や考え方などを捉えることができるかどうかを問う技能統合の問題である。



資質・能力を**統合的**に養うことが求められています。

この問題で求められている力

- ・ 本文と対話文それぞれに書かれてある内容を捉える力
- ・ 2種類の英文を照らし合わせながら読む力
- ・ 書き手の意図を捉えて適切に判断する力
- ・ 質問に対して正しい表現を用いて応答する力
- ・ 視点や主語を変えて英文を書き換える力

R元高知県学力定着状況調査

課題の見られた問題の概要と結果

7 (4) 中部16.2 % (全国15.7%)

掲示板に貼られている英文を読み、その内容について交わされている対話文の空欄にあてはまる語を書く問題。話の内容や書き手の意図などを捉えることに課題が見られた。

H31全国学力・学習状況調査

関連のある問題の概要と結果

8 中部10.7 % (全国11.6%)

食糧問題について書かれた英文を読み、問いかけに対する自分の考えを書く問題。読んだことを基にして書くという技能統合の問題。

授業改善のPoint I 「読むこと」の資質・能力を育成するために

「読むこと」の指導では、「必要な情報」「概要」「要点」のうち、どれを捉えるために読むのかを明確にして、読む目的に応じた様々な読み取り方を指導することが大切である。その際に、教師が教え込むのではなく、生徒の気付きを引き出しながら指導するように留意する。



教師が1文ずつ解説しながら全体の理解を促す
逐語的な読み指導

概要を捉える力を育成する際の指導の手立ての例

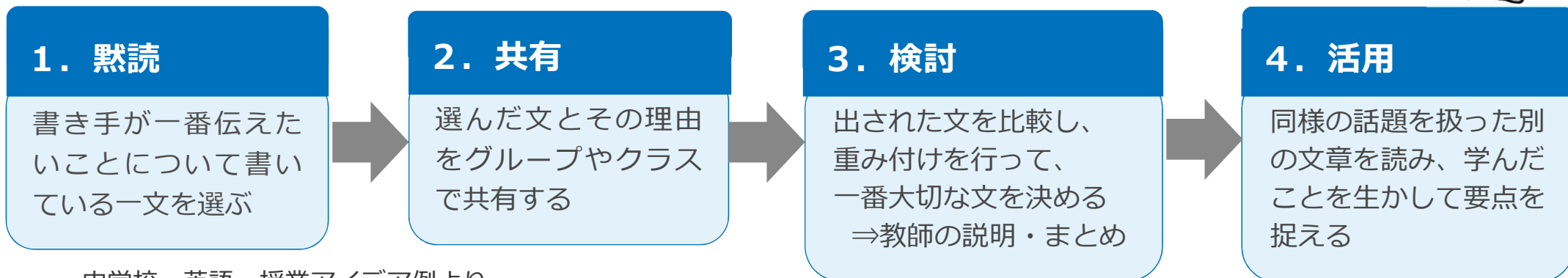
- それぞれの情報の関係を表す接続詞に注目しながら読ませる。
- 意味のまとまりごとに小見出しをつけさせる。
- キーワードを拾わせて全体を数文の英語でまとめるさせる。
- 時系列に沿って整理させる。



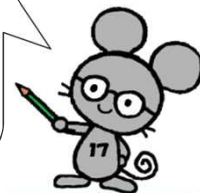
Good

文章全体から目的に応じて概要や要点を捉えさせる読み指導

要点を捉える力を育成する学習の流れの例



読み取れたことについて生徒同士で考えを交流させるなど、学習形態を工夫しましょう。



授業改善のPoint II 領域を統合した言語活動を行う

読んだことについて話したり書いたりして伝える際には、単に内容を理解するだけでなく、読み手として主体的に考えたり、判断したりしながら理解していくことが重要である。読む目的に応じて概要や要点を把握した上で、得られた情報から総合的に判断し、内容に対する感想や賛否、自分の考えなどを話したり書いたりして表現するなど、領域間の統合的な言語活動を工夫する必要がある。



領域を統合して行う言語活動の例

Step 1

文章を読み、書き手の主張を数文でまとめる。

Step 2

内容に対する自分の考えを話したり書いたりして表現する。

Step 3

自分が使った英語を振り返り、表現の正確さを高める。

Step 4

伝え合ったことを最終的な自分の意見として書いてまとめる。

実際のコミュニケーションの中で活用されることで獲得されていく知識・技能



読んだことについて考えたり判断したりしたことを表現する際には、必要な言語材料を自分で選択する必要がある。文脈や使用場面のない中でドリル的な学習に終始するのではなく、意味のある文脈の中で使用させ、「このことを表現したい時はこの言語材料を使用すればよい」ことに改めて気付かせて、使いながら理解を深めていくことが大切である。

言語材料を指導する際の流れ

言語材料を
理解させる段階

自然な場面設定の中で捉えさせ
意味と使い方の気付きを促す

少しでも多く聞いたり読んだり
話したり書いたりさせる

言語材料を
使用させる段階

使うべき言語材料を生徒自身に
考えさせる活動（帯活動なども
活用）で繰り返し使用させる

